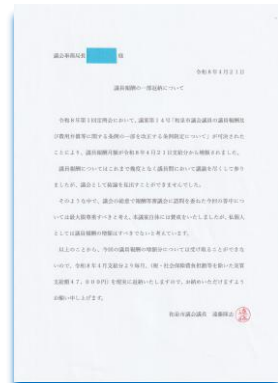




皆様には、日頃よりご支援賜りまして誠に有難うございます。
今号では、令和8年第2回定例会の審議事項等について掲載させていただきます。
市政に対するご意見、ご要望等がございましたらお申し付けいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

議員報酬増額分を法務局へ供託！

令和8年第1回定例会において、議案第14号「和泉市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について」が可決されたことにより、議員報酬月額が令和8年4月21日支給分から増額されました。議員報酬についてはこれまで幾度となく議員間において議論を尽くして参りましたが、議会として結論を見出すことができませんでした。そのような中で、議会の総意で報酬等審議会に諮問を委ねた今回の増額改定が望ましいとの答申については最大限尊重すべきと考え、本議案自体には賛成をいたしました。私個人としては無所属となった今も議員報酬の増額はすべきでないと考えています。以上のことから今回の議員報酬の増額分については受け取ることができないので、令和8年4月支給分より毎月、税・社会保障費負担額等を除いた実質支給額を市に対して返納する旨の申し入れを書面にて行いましたが市から受け取りを拒否されたため、毎月の議員報酬増額分は大阪法務局岸和田支局へ供託を行ない、その管理を委ねることにしています。



令和8年第2回定例会・審議結果（抜粋）

公の施設の使用料が改定されます

1. 公の施設については、用地取得費及び建築物建設費は市民福祉の推進を目的としているので公費負担。人件費及び維持管理費は利用に係るコストとして受益者負担とする考え方になっています。
2. 前回改定の後、新型コロナの発生により休館等の措置を講じる必要が生じ稼働率が著しく低下したことにより、使用料の見直しの検証が困難となっていたが、新型コロナ過の影響を脱したことから、今回、見直しの検証を行うことになった。
3. 利用料の見直しについては、過去2年間の維持管理経費等の実績に基づき算出した額と、現行使用料の1.25倍のうち、低い方の額が適切との考え方を基に算定した。令和9年4月1日施行

水道基本料金の全額補助が2ヶ月間延長されます

国において、重点支援地方交付金の補正予算が成立したことを受け、現在実施している水道基本料金の全額減額に加え、2ヶ月間延長する。
奇数月検針地区：令和8年10-11月検針分
偶数月検針地区：令和8年11-12月検針分

ほっと一息・黒鳥山公園の蓮



マンホール蓋の有効利用について

市民サービスの向上と財政負担の軽減を同時に実現することを目的に、下水道施設におけるマンホール蓋の「維持管理の高度化」や「地域活性化に資する活用」について質問を行いました。

【遠藤】通学路におけるグリーンベルトや横断歩道内のマンホール蓋の滑り止め対策について、進めていただいていると聞いているが、現在の状況について問う。

【上下水道部長】既設のグリーンベルト内の約120箇所については全て完了しており、現在、新たに設置されるグリーンベルト内のマンホール蓋についても順次対応を進めている。また、学校付近の横断歩道内のマンホール蓋約170箇所については、令和10年度に完了予定である。

【遠藤】施設の老朽化が進行していることに加え、それを維持管理する技術職員の減少により、維持管理を取り巻く環境が難しくなっている。これからは効率的な維持管理のため、デジタル技術の活用が必要と考えるが、導入状況について市の見解を問う。

【上下水道部長】デジタル技術の導入については、マンホール蓋に特化したものは現在導入していないが、下水道施設全体では様々な取組みを進めている。

【遠藤】全国では、マンホール蓋のデザインの活用やマンホールカードが人気を集め、地域周遊の促進に寄与している例がある。本市においても、歴史、自然、子育てといった魅力があり、発信の機会を広げる必要がある。

マンホール蓋を有効利用した広報に関する本市の取組みについて問う。

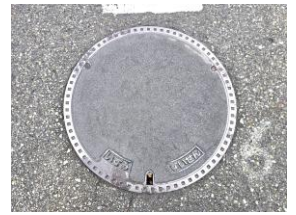
【上下水道部長】アートマンホールを美術館周辺に5箇所設置している。「ミャクミャク」のマンホール蓋を3箇所設置している。マンホールカードを2枚作成し配布している。

【遠藤】現在のマンホールカードはアートマンホールのデザインが1種類含まれている、その他のアートマンホールについてもカードを作成し配布することで広報に繋がると思うが、今後、新たにカードを作成することに対しての市の見解を問う。

【上下水道部長】新規作成については、申請、登録が必要となることや、2種類以上の作成については別途調整が必要となるので、下水道広報プラットフォームと調整の上、検討する。

【遠藤】マンホール蓋の有効利用、マンホールカードの配布については、「見える地域魅力の発信」を実現できる効果の高い施策であり、和泉市の魅力である歴史、自然、子育てを活かしつつ広報に寄与することが期待できる。歴史では池上曾根遺跡公園、神社仏閣、自然では槇尾山、黒鳥山公園、松尾寺公園、和泉リサイクル環境公園、子育てでは市内小学生の絵を採用した「子どもデザイン蓋」、文化では和泉市の伝統行事「信太山盆踊り・だんじり、神輿」、地域キャラクター「コダイ君・ロマンちゃん」等のデザインマンホール蓋を活用することで和泉市の魅力を市内外に発信することができ、マンホール蓋のスタンプラリーのような企画を行うことで和泉市への来訪者も増加し、経済効果も期待できるのではないかと思います。

また、マンホール蓋の有料広告についても検討していただきたい。



救命率向上に向けた取組について

【遠藤】AED使用に際し間違った応急手当をすれば訴えられる、また、男性が女性に使用する際、セクシャルハラスメントに該当するのでといった不安がある。この点についての見解や法的措置を問う。

【消防長】刑法第37条では、他人の生命に対する現在の危難を避けるため、やむを得ず行った行為は善意に基づく正当な処置として保護される。また、民事責任については、一般市民によるAED使用は急迫の危害を免れさせるために義務がないにもかかわらず行う緊急事務管理（民法第698条）に該当するので、悪意または重大な過失がなければ損害賠償責任を負わない。

プロフィール

- ・1958年6月、和泉市黒鳥町に生まれる
- ・伯太小学校入学/黒鳥小学校/和泉中学校/府立登美丘高校/大阪商業大学卒業
- ・元黒鳥小学校PTA会長/元和泉中学校PTA本部役員
- ・元府議会議員秘書/元衆議院議員公設第一秘書
- ・2016年9月、和泉市議会議員初当選/2020年9月、2期目当選/2024年9月、3期目当選
- ・都市環境委員会委員/和泉市財産評価審査委員会委員
- ・大阪拉致議連幹事/和泉市防犯協議会黒鳥支部相談役/黒鳥町第三町会顧問

